

さとしょう

議会だより

No. 108

2022.4.30



岡山県 里庄町議会



今日から幼稚園(西幼稚園)

- 3月定例会 令和4年度当初予算 (2)
- 補正予算(ふるさと納税増額) (4)
- 質疑(国民健康保険税条例等) (5)
- 町政を問う!(6人が登壇) (11)
- シリーズ こんな活動をしています(文化協会 写真部) (18)

賛成7:反対2

賛成多数で可決

(補正後59億4186万円)

3月

定例会

令和4年第2回定例会は3月4日から18日までの会期で行われました。議案は、条例の一部改正5件、補正予算5件、令和4年度予算9件、道路認定1件、規約の変更1件、その他2件、計23件が上程されすべて原案通り可決されました。また、議員発議が1件あり、全会一致で可決されました。

補正予算及び令和4年度予算については、予算決算委員会に付託され、審査を行いました。

なお、一般質問には6人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。



庁舎に掲げられた横断幕

令和4年度 里庄町の各会計予算

会計名	金額
一般会計	49億4647万円
国民健康保険特別会計	10億8183万円
介護老人保健施設特別会計	6995万円
介護保険特別会計	11億8687万円
後期高齢者医療特別会計	1億9542万円
育英奨学資金給与特別会計	25万円
町営墓地特別会計	459万円
水道事業会計	4億664万円
公共下水道事業会計	8億868万円

令和4年度
一般会計

予算総額

49億4647万円

令和3年度一般会計補正予算は全会一致で可決

令和4年度 主な事業

まちづくり補助金	1069万円	その他ワクチン個別接種委託料	4979万円
ふるさと納税事業	1億500万円	母子保健事業	1575万円
国民健康保険拠出金	7941万円	廃棄物収集委託料	6174万円
障がい者(児)福祉事業	3億8725万円	水路等改修工事費	3600万円
社会福祉協議会補助金	3650万円	道路新設改良事業	2億4130万円
高齢者福祉事業	2257万円	つばきの丘運動公園管理運営事業	2986万円
保育園施設給付事業	3億5280万円	消防機庫新設工事費(7部・本村)	3897万円
小児医療費扶助	5794万円	科学振興仁科財団補助(工事費含む)	3452万円
学童保育運営補助金	2927万円	J E T 英語指導助手事業	1522万円
児童発達支援	9172万円	西小学校施設改修工事	1247万円
健康増進事業検診委託料	2008万円	生活支援員配置事業(幼・小・中学校)	3510万円
新型コロナウイルス感染症 ワクチン接種事業	6491万円	公共下水道事業	2億7381万円

対象事業	経費	補助限度額	補助率	予定件数
耐震診断	診断に要する経費	6万円	—	5件
補強計画作成	計画作成経費	6万円	—	5件
耐震改修	工事に要する経費	50万円	1/2以内	2件

※耐震改修工事に対する補助限度額を50万円、補助率を1/2以内に変更します

補助対象事業は次の通りです。

住宅・建築物耐震
改修等事業

1600万円

空家等除却支援
事業

1200万円

新規・内容変更事業

空家の除却工事及び付帯工事を行う場合、経費の2分の1以内の額で、上限60万円を補助します。空家除却に関連し、条件によっては、固定資産税の減免を受けることが出来ます。

里庄町小児医療費
の拡充

5794万円

0歳～中学3年生(15歳)までを
0歳～高校3年生(18歳)までに、検討します。予算は中3まで。高校生まで含めると、1000万円程度の増額となる予想です。

里庄町タクシー 料金助成事業

550万円

交付枚数を増やします。
従来36枚が48枚に
世帯に対象者が複数い
る場合、従来48枚が60枚
になります。

対象者

- ①原則75歳以上
- ②町民で在宅生活をして
いる
- ③町民税等の滞納がない
(本人・世帯・同居親
族等)
- ④自動車運転免許証を保
持していない(本人)
- ⑤町民税非課税(本人)

補正予算 主な事業

岡山県西部環境整備

施設組合より納付金

4073万円

施設組合所有の土地を、
西部衛生施設組合に売却
し、西部環境整備組合を
構成している市町に分配
されたものです。

ふるさと納税事業

2176万円

想定以上の寄付で、更
に返礼事務に対しての補
正予算。5500万円の
増収に対するものです。

タブレット端末購入

61万円

農業委員等に購入し、
作業の効率化を図ります。

基金積立金

2億5837万円

財政調整基金

8566万円

減債基金 9271万円

開発基金 3000万円

教育施設整備改修基金

5000万円

森林環境譲与税

6000円

令和3年度末の合計基
金残高予定は、26億50
00万円になる見込みで
す。

町条例

一部改正

里庄町学校施設利用条例

一般利用者が、各学校
の体育館の冷暖房設備を
利用する場合の、利用料
金を設定しました。

1時間600円
(但しハーフト)

里庄町消防団条例

機械班長・機関部員の
加算を廃止し次のように
改定となります。

班長

19400円を

37000円に

団員

16200円を

36500円に

(共に交付税単価と同額
で年額)

他に、公務災害補償及
び退職報奨金について明
記されました。

職員の育児休業等に関する条例

職員の育児休業等に、
非常勤職員の取得要件や、
育児休業制度の個別の周
知について追加しました。

非常勤職員においては、
1歳到達日まで、要件に
よっては1歳6カ月から
2歳到達日まで取得でき
る事になります。

国民健康保険税条例

令和4年度の税率を引
き下げます。

国の制度として

未就学児に係る均等割
を半額に引き下げます。

町独自の制度として
全加入世帯を対象に、
均等割を概ね半額に引き
下げます。
(令和4年度限定)

笠岡市及び里庄町 青少年育成協議会 の廃止

日中での問題行動は、
減少し、各市町の抱える
問題も、多様化、複雑化、
深刻化し、個別案件対応
が増加傾向にあります。

市町単独での取り組みの
充実や、身近での対応が
求められる為に、協議会
を廃止するものです。

再任用職員

0・10月/年の減額
令和3年度に引き下げ
なっていた額について
は、令和4年度の期末手
当で減額調整します。

ここが賛成！

国保税引下げが実現

佐藤耕三議員

一人当たり一万円ほど軽減。
以前から要望していた内容で、今回国保税の引下げが実現。
他の自治体に比べて余裕がある。財政が許す限り来年度もお願いしたい。

ここが反対！

基金は残しておくべき

仁科英磨議員

一般会計から繰り入れ、国保の加入者だけ支援するのは公平性を失う。
高齢者の医療や健康・生きがい対策、インフラ整備、農業対策などに回すべき。
ある程度の基金は残しておくべき。



桜の下で散歩(つばきの丘運動公園)

質 疑(条例)

国保対象者の支援今必要か

仁科英議員 国保の対象者だけに支援をすることが本場に今必要か。

町長 国保世帯の負担軽減をするために提案したことが、適切かどうかを判断して欲しい。

仁科英議員 国保・後期高齢者の対象者数は、

町民課参事 国民健康保険では、2091人。後期高齢者医療は、1871人。

仁科英議員 国保会計の基金残高は、

町民課長 3億5392万円の見込み。

仁科英議員 一般会計からの、項目ごと及び、合計でいくらの繰り出しをしているか。

町民課長 保険基盤安定繰入金が4536万円、

出産育児一時金が336万円、財政安定化支援事業繰入金が1190万円、事務費の繰入金が1948万円を見込んでいます。合計額は、8428万円。

仁科英議員 交付税はいくらで、交付税よりの程度上回って繰り出しをしているのか。

町民課長 財政安定化支援事業繰入金については、全額交付税。他の項目も、交付税は算入されているが、現在財政のほうで計算されていない。

仁科英議員 国保だけを、1年やるという使い方は疑問があるか。

町長 1年でも国保加入者の負担軽減につながればということで、国民健康保険税の被保険者の保険料率を引き下げる。

仁科英議員 後期高齢者とのバランスを失っているが。

町長 後期高齢者医療の保険者との、均衡は考えていない。

総括質疑

変動予測調査、目的は

眞野議員 中止となった事業は、予算に対して100%減額になったのか。
企画商工課長 産業文化祭事業、夏まつり里庄共に100%減額。

副町長 健康まつりも、100%減額。

教委事務局長 厚生体育大会、健康体力づくりマラソン大会共に100%減額。

眞野議員 合併浄化槽推進事業で減額補正が出ている。実際に申請件数はいくらか。減った理由は。
上下水道課長 申請件数は全体で8基。コロナの関係でトイレの材料が入ってこない。
 また、下水が普及したというのもある。

眞野議員 認可区域になつたら、新築で合併浄化槽を入れても、補助金が出ないから、申請件数が減つたとは考えられないか。

上下水道課長 新たに家を建てるには、影響ないと考えている。
 認可区域外だったら補助は出る。

眞野議員 空き家や、古家の建て替えをし、新たに来る人もいると思うが、補助の対象として、再検討してもらいたい。
上下水道課長 その辺は協議していききたい。
町長 状況をしっかりと見極め、必要なことであれば考えていきたい。

眞野議員 変動予測調査等委託料500万円は、何の目的か。

農林建設課長 大規模盛土の有無と造成年代の調査を県が実施している。町内10か所で、町は第2次スクリーニング計画を立てる必要がある。どの盛土から調査を行うか優先度を決める計画を立てる費用。

眞野議員 早めに調査し、公表してもらいたい。が、予定としてはいつ頃を考えているか。
農林建設課長 今の段階では分からない。

固定資産税の補正理由は

高田議員 固定資産税が3000万円補正されている理由は。

町民課参事 コロナの関係で猶予した企業から、令和3年度に1000万円入ってきた。

また、新型コロナウイルスの関係で、予算を少なめに見積もっていた。

高田議員 道路の新設改良のとき、何号線で場所・地区の具体的な説明をお願いしたいが。
農林建設課長 説明する際は分かりやすくしたい。



私たち元気いっぱい(かすみ保育園)

補正での4700万円は

仁科英議員 町道里見716号線は、令和4年4月から工事準備着工にかかるのか。

農林建設課長 年度内には工事に着手したいと考えている。

仁科英議員 4700万円が町がそっくり買い上げるということか。

農林建設課長 土地開発公社が買った値段で買戻しをする。



花咲く下で

課題に対する予算編成は

仁科千議員 2期目の町長として、現在また今後の課題に対して、今回の予算編成に反映されているのか。

町長 予算編成において、新型コロナウイルス感染症対策、防災対策、高齢者福祉の増進、そして教育、子育て支援、都市基盤の充実、安全・安心なまちづくりなど、里庄町にとって優先的に取り組むべき課題に対応するための費用を盛り込み、予算を編成している。

仁科千議員 今後の新型コロナウイルス対策も、この予算に反映しているのか。

町長 ワクチン接種事業として6491万3000円、3密の回避や非接触・非対面での手続を推進するため、公金のコンビニ・スマホ収納サ―

ビス導入費用として752万円を計上している。

仁科千議員 システム改修ができない限り、高校3年生まで医療費を無償にすることはできないという事か。

副町長 小児医療費のシステム改修の経費を計上している。システム改修に、しばらく時間がかかる。準備の見通しがついた段階で条例改正をし、予算案を示したい。

仁科千議員 物件費の増額および補助費の減額の理由は。

総務課長 ふるさと納税返礼事務委託料、ワクチン個別接種委託料、集団接種会場運営等委託料、新型コロナウイルスワクチン接種委託料、行政手続オンライン化対応委託料、戸籍システム改修委

託料の増額が主なもの。岡山県西部衛生施設組合負担金、処分場建設分1億5620万円が減額の主な理由。

仁科千議員 処遇改善費はこれからも膨れ上がっていくのか。

総務課長 国や県の方針に従って動向を注視しながらやっていく。



元気に育ててね

東公民館なぜ優先

佐藤議員 建設等の修繕費も優先順位を考慮して予算編成したのか。

町長 それぞれの事業で優先順位をつけてやっている。

佐藤議員 いろいろな課の状況を見ながら、なぜ東公民館の舗装を優先でやらなければならないのか。

町長 東公民館の駐車場の舗装工事をして、利用者の利便性を高めていきたい。

それぞれの事業の中で優先順位やニーズなども考える必要がある。

費に充てる。

ふるさと納税の寄付金は、経常的に入ってくるかどうかは難しい。全体的な財政のバランスを見ながら、住民サービスに取り組んでいきたい。

仁科議員 一般会計と特別会計を交付税絡みで、全体を見直ししては。

町長 特別会計はそれぞれ安定的に運営ができています。

一般会計は、税収をいかに確保していくかを考え、定住促進、住宅開発などが促進できるような事業に取組む必要がある。それぞれの独立した会計を見極めていく必要がある。

仁科議員 ふるさと納税は経常的でないが、一度経常的な医療費に充てるとやめられなくなる。どういう観点でやるのか。

町長 寄付金の目的は、子育てに使用して欲しいとの要望が多いので、医療

ふるさと納税は経常的でない

仁科議員 経常収支比率はどうなっているのか。
総務課長 決算では、明確な数字が言えるが、予算の時点では、数字を出していない。

仁科議員 小児医療システム改修費124万円計上しているが、追加の医療費を計上すべきでは。

町長 改修が終わってからは、年度途中にお願いしたい。

ここが反対! (一般会計)

駐車場舗装をなぜ優先

佐藤耕三議員

東公民館の駐車場舗装よりも、町内にはそれより悪い状態の道路がいくつもある。バランスを考えた予算と言いながら駐車場の舗装を優先する事に納得できない。

ここが反対! (一般会計)

迷惑施設、地元負担のめない

仁科英磨議員

迷惑施設を造るから、地元負担はないと思ってた。焼却場熱利用施設の建設費が、いくらかかるか全く分からない中で、今突然負担せよと言われてものめるものではない。

ここが反対! (国保税特別会計)

繰り入れを減額すべき

仁科英磨議員

国保会計へ8011万円繰り入れしているが、国保会計に余裕があるなら、その分は減額すべき。



傷んだ道路

予算決算委員会

3月11日、14日、15日及び16日の4日間に渡り関係当局の出席を求めて説明を聴取しながら、慎重に審査を行いました。

令和3年度一般会計、特別会計の補正予算では、分館活動再開円滑化補助金交付事業の実績、公有財産購入費等に質問がありました。

令和4年度一般会計予算では、消防機庫新設工事の建設予定地・工事内容、公共施設整備検討委託料の内容、ふるさと納税の取り組み、つばきの丘運動公園の、のり面復旧工事等について、質疑意見がありました。

本委員会における採決状況は、令和3年度補正予算全議案全会一致で原案を可決。

令和4年度里庄町一般会計予算及び国民健康保険特別会計予算2議案に

ついては、賛成多数で原案を可決、他7議案については、全会一致で可決すべきものと決しました。

建設福祉委員会

町道道路線の認定

町道新庄628、628-1号線(川南焼山)

3月10日に委員会を開催し、担当課である農林建設課の案内で現地調査、確認を行った上で慎重に審査しました。

路線番号のつけ方について質疑があり、電線を埋設型に要望はできないか等、意見がありました。現地調査では、道路幅員等確認したところ、問題ありませんでした。採決の結果、全会一致で認定すべきであると決しました。



町道新庄628号線

臨時会

2月16日に開会し、1件の提案があり、全会一致で可決しました。

工事請負契約の変更契約の締結
1億4267万円

奥迫池災害復旧工事が3399万円の増額変更となり、工事請負契約の変更契約の締結が必要となりました。

議員発議

ロシア連邦によるウクライナ侵略を強く非難する決議案

全会一致で可決

〈主旨〉

ロシア連邦は国際社会の要請・警告を無視し、ウクライナへの軍事侵攻を開始し、ウクライナでは子供や老人を含む一般市民に多くの犠牲者が出ている。ロシアによるウクライナへの侵攻は、決してあってはならない暴挙と言える。

ウクライナの人々の平和かつ穏やかな生活が一日も早く取り戻すためにも、ロシア連邦によるウクライナ侵攻を強く非難する。

賛否表

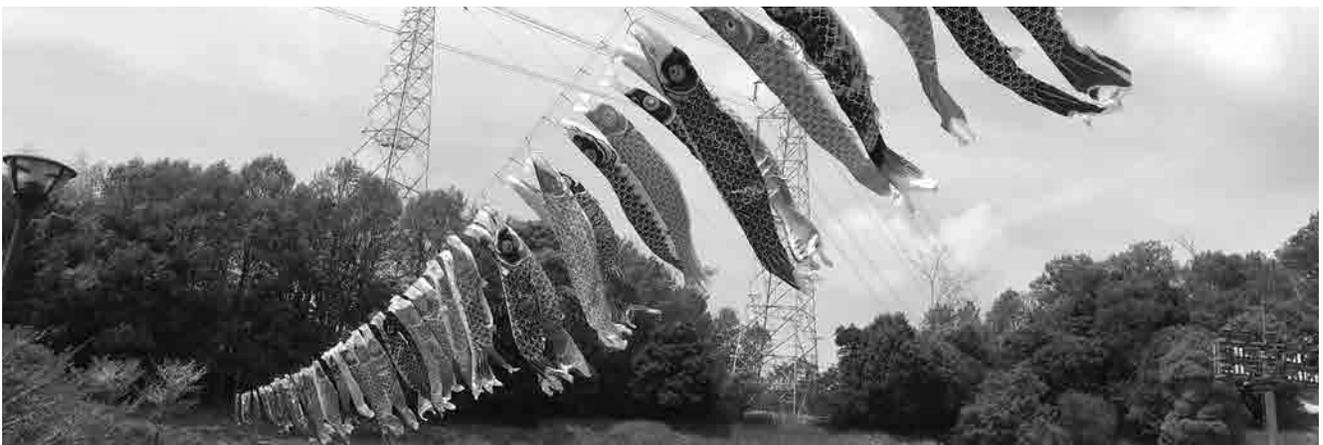
賛否表

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議案名	議員名	平野敏弘	高田卓司	小野光三	眞野博文	仁科英磨	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	藤井典幸	議決結果
2月臨時会 議案第1号	工事請負契約の変更契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

3月定例会	議案第2号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第3号	里庄町職員の給与に関する条例及び里庄町第一号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第4号	里庄町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第5号	里庄町学校施設利用条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第6号	里庄町消防団条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	令和3年度里庄町一般会計補正予算(第12号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第8号	令和3年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第9号	令和3年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第10号	令和3年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第11号	令和4年度里庄町一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	×	可決
	議案第12号	令和4年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第13号	令和4年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第14号	令和4年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第15号	令和4年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第16号	令和4年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第17号	令和4年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第18号	令和4年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第19号	令和4年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第20号	里庄町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第21号	モーターボート競走の施行	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	岡山県西部衛生施設組合理約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第23号	笠岡市及び里庄町青少年育成協議会の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
議案第24号	令和3年度里庄町一般会計補正予算(第13号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
発議第1号	ロシア連邦によるウクライナ侵略を強く非難する決議	○	○	○	○	○	○	欠	○	可決	

注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)



春風に誘われ元気よく

6人の議員が登壇して質問!

藤井 典幸 議員.....12P

- ① 災害時の上下水道の安全性は

平野 敏弘 議員.....13P

- ① コロナ対策
- ② 2期目の町政運営の考えは
- ③ 里庄町の財政

高田 卓司 議員.....14P

- ① 荒廃農地対策

眞野 博文 議員.....15P

- ① ウィズコロナ社会への町の対策
- ② 当町の実情に応じた新たな旅客運送サービスの創設を

佐藤 耕三 議員.....16P

- ① 新型コロナ対策
- ② 加齢性難聴者に対し補聴器助成制度導入を
- ③ デジタル化とマイナンバーの対応

仁科 英磨 議員.....17P

- ① 新ごみ焼却施設建設事業の進め方

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

議会会議録は里庄町のホームページからご覧になれます
<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/satosho/pg/index.html>

里庄町
HP

町議会

里庄町
議会会議録

会議録
閲覧・検索



3月定例会

一般 質問

町政を問う

災害の対策が必要ではないか

町長／計画的に進めていく必要がある



藤井 典幸 議員

問 水道管の耐震化とは、どのくらいの震度まで大丈夫なのか。

課長 水道管の耐震化は、震度7相当の地震に対して小さな被害で収まるように、更新することを目指す。

問 上水道施設の耐震化は

課長 新庄浄水場・里庄配水池・鴨方浄水場・里庄北配水池は耐震化できている。

問 災害時、水の確保は重要。

課長 屋上に貯水タンクがある施設はどこか。指定避難所の東小学校、中学校、中央公民館、総合文化ホールに受水槽及び高架水槽が設置されている。

問 下水は笠岡・鴨方の終末処理場を利用しているが、終末処理場までの耐震化は。

課長 笠岡市への管路の耐震化は令和8年度までに行う予定と聞いている。浅口市の管路は、今後耐震化を検討すると聞いている。

問 笠岡終末処理場は岡山県の災害マップで、被災度の非常に高い場所となっているが津波や液状化などの対応は。

課長 笠岡市の処理場は津波浸水対策及び液状化対策は未対応、今後診断、設計する予定と聞いている。液状化対策など早期に実施するように要望していきたい。

問 下水が被災すると、5517人が避難所に避難してくるが状況に応じた備蓄が必要ではないか。

総務課長 岡山県の災害時相互応援連絡協議会で定められている里庄町の排便袋等の目標備蓄量は4140回分。目標備蓄数に近づけるように、今後購入していきたい。

問 水道の耐震化はいつ終わるのか。またどれくらい耐震化されたのか。

課長 終了は令和46年度との予定。口径50ミリ以上の主要管路は約13%、口径150ミリ以上の配水管及び送水管は、約24%が耐震化されている。

問 高梁川の取水口から浄水場までの導水管の耐震化は。

課長 耐震性の調査はできていない。共同所有している農林水産省などの5者に耐震化の調査の実施と耐震化の要望をしていきたい。

問 仁科会館や東公民館にも貯水タンクを設置したらどうか。

課長 屋上貯水タンクは強度などの調査が必要。

問 笠岡終末処理場と鴨方浄化センターの施設の耐震化は。

課長 笠岡終末処理場は、ほぼ耐震化を終えている。鴨方浄化センターは、今後震度7相当に対応するための診断等を実施する予定。

問 下水道施設や下水本管が被災した場合の対応は。

課長 町ではマンホールトイレ1基と簡易トイレを6基、200回分の排便袋を備蓄している。

問 上下水道の災害対策は、里庄町だけではどうにもならない。関係機関に災害への備えを強く訴え、早期の対策を実施してもらえないように要請することが必要だと思うがどうか。

町長 災害時の対応は関係機関と協議をしながら、計画的に進めていく必要があると考えている。

問 下水道の耐震化率は。耐震化率は約89%。

課長 下水道の耐震化率は約89%。

問 下水に接続している世帯数と人数は。

課長 令和2年度末時点では世帯数が2217世帯、人数は5517人。

平野 敏弘 議員



3回目の接種状況は

副町長 / 2月末で65.4%

問

コロナについて里見川荘でのオミクロン株の対策は。

総務課長

面会は玄関でのガラス戸越しや、タブレット端末を使ったリモート面会をしている。

問

町での感染対応は。

町長

予防の行動を住民にってもらう。

問

学校の感染対策に、職員の出動時間をずらしたらどうか。

教委事務局長

必要最低限の人員配置なので困難である。

問

3回目、高齢者のワクチン接種の状況は。

副町長

2月末で65.4%の高齢者が接種済み。

2期目は何を

やりたいのか

町長 / 社会基盤の整備

問

2期目、重点的に何をやりたいのか。

町長

新型コロナウイルス対策や防災、福祉、教育の充実を図っていききたい。

問

職員にどういうことを望んでいるのか。

町長

生き生きとやりがいを持って仕事ができ、明るく風通しのよい職場をつくっていききたい。

問

議会も町長も町民の代表である。議会議と執行部の仲をどうしていくか。

町長

目指すところは町民の幸せと町の発展である。お互いに理解と協力し、住み心地のよい町にしていきたい。

町の財政は

町長 / 収支のバランスが取れた運営を

問

町の財政についての認識は。

町長

人件費や社会福祉事業等の扶助費、一部事務組合負担金、道路整備、里見排水機場改修等に伴う岡山県建設事業等の負担金、下水道事業への負担金補助金の支出、さらには老朽化した施設の改修などの維持管理費用において、それぞれ増加が予測される。

その他の質問

Q 国土調査完了で町の面積は。

A 固定資産税は。面積測定は未確定。

約2000万円の増収と考えている。

Q 中・長期的な財政の見通しに、シミュレーションを検討する気は。

A 緊急的に取り組むべき優先課題の発生などを考慮し、中・長期的な視点をもち、持続的な行財政運営につながっていくものと考えている。

問

福祉等で、基金を取り崩している状況が続いている。積み立てる額より取り崩す額が多ければいつかは基金がなくなるがどう考えるのか。

町長

基金を枯渇させることがないよう、職員一人一人が危機感を持って職務を遂行し、既存事業を見直し、個々

社会基盤の整備は、殿迫地区の里見716号線、金山地区の新庄613号

荒廃農地対策について

草刈り機の貸し出しを

町長／意見を参考にして検討



高田 卓司 議員

里庄町は住みやすく、環境のいい町で人口も横ばい状態である。

しかし農地の荒廃化が進み見苦しい状態である。

問 荒廃農地対策について、的確な対策ができていないように思うが、今後どのようなしていくのか。

農林建設課 参事 地権者が自分の農地を適正に管理する必要を認識することが重要だと考える。

草刈りなど最低限の保全管理をするように強く呼びかけていきたいと考えている。

問 参事から答弁があったが町長はどう考えているか。

参事から答弁があったが町長はどう考えているか。

町長 農地が非常に荒れていて、害虫とか、美観とか野焼き等で、住民とのトラブル等も発生していることは認識している。

耕作放棄地をどのように解消していくか重要な課題と認識している。適正な管理をお願いしていきたい。

問 具体的な対策をやってきたか、やっていきたいか、いまだに見えてこない。啓発活動もやっぱり効果がない。

2〜3年もすると数ヘクタール単位で荒廃化するのには確実である。具体的なことをやらなければいけないと思うが、どう考えているか。

具体的なことをやらなければいけないと思うが、どう考えているか。

農地パトロールの調査結果に基づき広報回数を増やし適正な管理をお願いしながら周知を図っていきたい。

農林建設課 参事 農地パトロールの調査結果に基づき広報回数を増やし適正な管理をお願いしながら周知を図っていきたい。

問 今までどおりのやり方では効果がないことは分かっている。

きれいな町、住みよい町にしたいならば予算をかけたも荒廃化を防ぐため、景観を少しでもよくするため予算をかける必要があるか。

町長 今の状況を見る中で耕作放棄地対策に一步踏み込んで取り組む必要があると考える。

今の状況を見る中で耕作放棄地対策に一步踏み込んで取り組む必要があると考える。

予算をかけても取り組む気持ちは十分持っている。

問 管理の啓発文書は年何回どのような形でしているか。

農林建設課 参事 利用意向調査は法律上1回となつているので、広報等は町の裁量で回数を増やせるので増やしたい。

問 草刈り管理をするために、他の町ではハンマーナイフという機械を貸し出し荒廃化を防いでいるところもあるらしい。

中にはラジコンで動く草刈り機を貸し出して

るところもあるようだ。近隣の町を見ながら考えてはどうか。

町長 耕作放棄地対策はまず草刈り等適正な管理を地権者が基本的にするのが第一だと考える。

近隣の市町でもそのような機械を取り入れているところがある。

農業委員会等も含め相談しながら導入に向けて考えていきたい。

問 荒廃化を防ぐためのもう一つの考えとして、コスモス、菜の花、レンゲなどの景観作物を作っている町も

あるが、そのようなことも研究する必要もあるのではないか。

町長 荒廃化を防ぐために何が効果的か、プラスになることならやってみる必要があると思うが。

ただ単に草刈りをするだけでは、目的がないとモチベーションも上がらないと思う。草刈りをした後で花を植えるとか、地域の環境美化につながることでやりたいと思う人が増えることも考えられる。意見を参考にしながら検討したいと考える。



効率性の高い草刈り機

眞野 博文 議員



衰退する地域コミュニティの支援策

町長／いろいろなやり方を考え、状況に応じて

問 3回目のワクチン接種の状況を尋ねる。

副町長 3月6日現在、3601人が3回目の接種を完了した。6月中におおむね完了する。

問 次の7波、事前準備することできないか。

副町長 国、県の動向を注視し、早急に接種体制が組めるよう、準備を進めておく。

問 5歳以上11歳以下のワクチン接種。当町ではどのような状況なのか。

副町長 3月7日の週に接種券を発送し、3月14日の週を目途に、県内全体で実施の予定。県内の医療機関のどこでも接種できる。

問 ワクチンの接種証明書の活用と予防接種記録のためのワクチン手帳の導入は考えていないのか。

副町長 国は、接種証明書を活用した入場制限の緩和等の仕組みをつくっているが、県内では活用した緩和はない。町としては、活用の可能性を今後検討する。

問 地域は感染しないうために、ほとんど活動しなくなった。このままでは、地域コミュニティは衰退する。町の支援策は。

町長 今年度、分館活動再開円滑化補助事業として一分館あたり30万円を限度として補助した。いろいろなやり方を考え、状況に応じて判断をしていく。

地域の公共交通機関は

町長／いろいろな地域の取組を研究・検討

問 地域の公共交通機関、町はどのように考えるか。

副町長 公共交通住民意識調査分析事業のアンケート調査の結果は、現在取りまとめ中。分析は、今月末までに完了。

問 地域公共交通計画は何のために作成するのか。

企画商工課長 地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするマスタープラン。

問 計画はどのように作成されるのか。

企画商工課長 学識経験者、交通事業者と地域住民の代表者参加の協議

会で幅広く意見を聞き、実情に合った計画を作成。

問 高齢者タクシージェットの料金助成事業。交付枚数を増やす理由は。対象者となる条件の緩和は。

副町長 家計負担の軽減を図るため。このたびは要件の緩和は行っていない。要件の見直しは、地域公共交通計画の中等でも研究する。

問 運転免許証を返納しても日常生活に支障を来さない環境の整備をどう考えるか。

企画商工課長 協議会で町の実情に合った公共交通手段を検討していく。

問 アンケートにはコミュニティバスやデマンド型交通のことについて触れている。検討するのか。

町長 柔軟な形で、これからの時代に合った交通体系をつくる必要がある。

問 三重県のある町では、住民がドライバーとなって高齢者を有料で送迎している。このようなことも含めて、検討しないのか。

町長 住民ドライバーによる移動手段も一つの形。いろいろな地域の取組を研究し、検討する。

不安に対するアンケートを

副町長／実施の予定はない

問

子どもへのワクチン接種券を希望者だけに送ることは可能か。

副町長

5歳から11歳までの全員に発送することになっている。

問

子どものワクチン接種に対し、親はどのような不安があるのか、アンケートを実施しては。

副町長

実施は予定していない。

問

国の計画している病院の統廃合計画は中止すべきと思う。声を上げる考えは。

町長

現状を総合的に勘案した上で判断する必要がある。引き続き状況を注視していく。

補聴器購入に対し補助を

町長／貴重な考えとして承る

問

補聴器を使うことで災害の危険回避や認知症の予防に、また健康寿命を延ばし医療費抑制になると思うが、

町長

認知症の予防や医療費抑制につながる可能性はあるかもしれない。

問

補聴器購入に対し補助制度の導入を考えては。貴重な考えとして承りたい。

町長

貴重な考えとして承りたい。



佐藤 耕三 議員

窓口が減らされることは

総務課長／基本的にはない

問

マイナンバーカードの紛失、番号が漏れた場合にはどんな問題が起きるのか。問題を防ぐための措置は。

町民

マイナンバーを他人に知られても個人情報調べることができない。問題が起きるとは考えにくい。

総務課長

紛失しないよう管理をしてもらう。

問

カードを作るときポイントが付けたこと、普及率はどうなったのか。普及は進んでると思うか。

総務課長

令和元年末13.3%。令和2年度にポイント事業が開始し令和3年1月末39.5%になった。

普及効果はあったが、高いとは言えない状況。

問

デジタル化が進む中、どのようにして個人情報を守るのか。

総務課長

インターネット系、個人番号利用系等のネットワークを分離している。また、県のセキュリティクラウドを利用してる。

問

総務省の情報セキュリティサイトにはネット使用について基本的な対策を掲載しているのを、参考にしてもらいたい。

総務課長

全国一律のシステムを使うことで自治体独自の施策ができなくなる心配もあるが、詳細は分からないうが、今後調査研究しながら準備を整えていきたい。

問

対面の窓口が減らされることが心配されるが、総務課長 窓口での住民対応は役場の基本的業務。基本的にはなくなることはないと思う。

仁科 英磨 議員



建設地の決定、町長の独断では

町長／3市2町の首長の総意で決定

問 ごみ焼却施設建設事業について、12月議会に続き、伺う。まず公害問題。排煙中のダイオキシンと水銀の環境基準を、改めて問う。

町長 水銀は、大気の水銀は、0.04 μg/m以下、水質・地下水も環境基準値0.5 μg/l。アルキル水銀は不検出。

問 誰がどこで測ると、どこで決めているのか。測定結果は、関係法により、

町長 知事が常時監視する。測定点は県が選定。測定結果は、いずれも基準値の範囲内。

問 地下水及び土壌は、2年に1回は里庄町内と言う。過去5回分の個別具体的な測定場所は。

町長 土壌は、ダイオキシンだけ測定。

環境の測定点

年度	地下水	土 壌
平 24	川南地区	つばきの丘公園
平 26	有井 〃	東小グランド
平 28	岩村 〃	里中 〃
平 30	高岡 〃	西小 〃
令 2	高岡 〃	東小 〃

問 非常に偏っているのは、なぜか。地下水は、所有者の同意を得られた井戸から、土壌は、県が示す対象候補地から選定したため。

町長 どの井戸となぜ言えないのか。なぜ汚染の影響の大きいところから取らないのか。今後は、地元や町民の要望を聞きながら、公表できるところで、真下、周辺、0.5 km、1 km、2 km、4 km、東西南北など、バランスよく取れないか。

町長 公表の了解を得ていないため。現在の清掃工場は、排

出の問題はないと認識していたため。今後は、環境影響評価の結果等も踏まえて、必要に応じて効果的に調査するよう努めたい。

問 排煙中のダイオキシン類及び水銀の、平成11年の運転開始以降の測定結果は。

町長 ダイオキシンは平成23年度以降水銀は30年度以降、確認しているが、いずれも基準をクリアしている。それ以前のデータは、入手できていない。

問 ダイオキシンの排出基準は、炉の建設開始が平成9年12月1日より前なら1 ng、TEQ/μN以下だが、それ以降なら0.1以下で、23年以降の合格率は3分の1以下になる。炉の建設開始日は、その後確認できたか。

町長 西部環境は、探したが確認でき

る資料はないとのこと。届出先の岡山県にも確認したが、同じ回答。

問 確認できないので甘い方がいいと考えるのはおかしい。次に、ダイオキシン類対策特別措置法施行規則は、別表で、大気排出基準を施設の焼却能力の規模ごとに定めている。また、同政令は、施設の焼却能力は、炉が2つ以上ある場合は、それらの焼却能力を合計したものとされている。これは、焼却能力130 tの施設が基準値1の65 t炉2つに分けても、その排出基準値0.1は変わらないということ。ところが、新施設の排出基準は1と説明されており、おかしい。

町長 岡山県や環境省に確認しており、解釈は間違っていない。新施設は、さらに厳しい0.05の自主基準値で運営するので、問題ない。

問 建設地の決定は、平成2年2月に、町としては町長の独断、あるいは行政の独断で行われている。最近、同年2月に管理者等の合意を得たとか、同3月に合意書を締結したという記述が出てきているが、どういうことか。

町長 3市2町の首長の総意として決定しており、決して独断ではない。また、合意形成は、意思形成過程情報であることから、組合としては非公開としている。

問 議会や町民との関係で独断ではないか、と伺っている。意思形成過程は言えないでは、民主主義ではない。その後の500 m内だけでの説明も、後で形を整えているだけでは。

町長 500 mは、県の産業廃棄物処理施設建設に係る指針を参考にしたことによる。

町長 500 mは、県の産業廃棄物処理施設建設に係る指針を参考にしたことによる。

里庄町文化協会
写真部

私達の里庄町文化協会写真部は昭和四十六年開設以来日曜日を中心に自分達の自家用車、時には貸し切バスで、名所イベントを求めて撮影に頑張っています。

発表の場は毎月第3日曜日、午後6時より福祉会館に於いて、笠原、畑中両氏の指導の下、自慢話や失敗談等で賑やかなひと時を過ごします。

また年間2回は文化祭での美術展、また写真部の独自のクラブ展等発表の場を頂いています。

思い出としては、2018年8月に、笠岡放送の「私のまちの元氣印」というタイトルの取材で広島方面へ撮影に出かけました。

そこは広島市健康づくり館センター、健康科学

館、また広島市の中工場という、ごみ処理施設など、議員の皆さんが見学されるようなところでした。

笠岡放送のキャスター細川さんのインタビュに皆さん緊張気味でしたが、楽しい一日でした。最後に私達写真部のモニターとして、技術は二次楽しく遊ぼうです。皆さん興味がある人は一度例会に遊びに来て下さい。歓迎します。



《第108号》

令和4年4月30日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.lg.jp

●あとかぎ

令和4年度当初予算も可決され、里庄丸も出航しました。1年間の旅立ちです。無事に航海が終わることを、見守ります。

コロナ感染も、収まりが見えません。自己防衛に徹しましょう。

議会・行政にご意見、ご要望がありましたら、議会事務局までご一報を。

(小野)

編集委員

委員長:小野光章 副委員長:藤井典幸 委員:仁科千鶴子 委員:佐藤耕三



令和4年6月定例会は、6月3日(金)から始まる予定です。